

## 公共施設マネジメント意見交換会の概要（6月16日実施分）

### 1. 開催日時・会場

〈宮寺・二本木地区〉

日 時 平成30年6月16日（土） 午前 9時30分から午前11時30分

場 所 博物館 1階 講座室

〈東金子地区〉

日 時 平成30年6月16日（土） 午後 2時30分から午後 4時40分

場 所 東金子公民館 1階 大会議室

### 2. 内容

①開会あいさつ（田雑部長）

②市役所及び市民会館・中央公民館の耐震化についての説明（増田主幹）

③意見交換会（浅見課長、岩田政策推進室長、増田主幹、大石主幹）

④閉会（浅見課長）

### 3. 参加者数

〈宮寺・二本木地区〉

参加者 34名

〈東金子地区〉

参加者 35名

※ 質疑応答の概要は別紙のとおりです

※ 応答における表記の例

（公マネ）：公共施設マネジメント推進課

（政策）：企画課政策推進室

公共施設マネジメント意見交換会 質疑応答一覧

<宮寺・二本木地区>

No.	発言要旨	応答
1	<p>・市役所の説明を聞いていると、パターン4の複合化案を選択したいという思いが強いうように思えるがいかがか。</p> <p>・市役所の建物の大きさは書いていないが現状のままなのか。人口減少が進み、学校なども減るので、市役所も半分程度にすることを考えてもらいたい。</p>	<p>(公マネ) 検討した4つのパターンを比較検証し、パターン4が最もメリットが大きいと考えた。しかし、費用や駐車場、周辺道路への影響などの問題がある。改めて複合化も含めて課題解決が可能か、コストの削減や財源の確保などについて再検証して結果を示して決めていく。4つのパターンを比較し選択していきたい。選択するうえで難しいのは、現時点でかける費用と長期的な費用と両面を見てバランスを取ることである。短期、長期両面から意見をいただきたい。</p> <p>(公マネ) 示している金額は、現在の組織体制と人数に対して必要なスペースで試算したものである。半分は無理だと思うが、コスト削減に努めていく。</p>
2	<p>・市報や議会報を見ると調整が難航しているようだ。どのような点が争点となっているのか。</p> <p>・複合化について、構内道路は法律上どのような扱いとなっているのか。複合化すれば交通量も多くなる。構内道路が無くなれば、敷地内の空地が少ないので渋滞が発生すると考えるがいかがか。</p> <p>・航空法の規制があり、市役所は高層化できないはずである。茶畑や人が集まる所を無くし建蔽率を増やすこととなる。市民会館と一緒にすることは必要なのか。複合化するならばもっと広い敷地が必要である。複合化は本当に良い案なのか。市民会館・中央公民館は都市公園として指定されているというが、建設後に指定されたのか、それとも建設前に指定されたのか。</p> <p>・AB棟を壊して新棟を建設するとなると、茶畑など人が集まれるスペースが無くなってしまふ。敷地内に余裕が無くなり、防災拠点やイベントとして使えるスペースが無くなってしまふのではないか。市民が親しめるような施設として欲しい。</p>	<p>(公マネ) 経過について説明すると、昨年、議会に公共施設最適化検討特別委員会が設置された。委員からは様々な意見が出され、指摘された交通に関するものも含めて様々な課題がある。そういった点が十分に検証されていないため、一年延長して計画の練り直しをすることとなった。</p> <p>(公マネ) 構内道路は地域住民が通り抜けのために使用している。あくまで敷地内の道路であるため廃止し、北側の市道を利用しやすくする調整をしていきたい。今年度、交通移動のシミュレーションを行っていく。</p> <p>(公マネ) 市民会館・中央公民館のある土地は愛宕公園として指定され、その後建設された。公園の敷地内であっても教養施設であれば建蔽率12%以内であれば建設が可能である。</p> <p>(公マネ) 市役所がある場所は、用途地域が商業地域となっており、建蔽率が80%である。複合化は法令上問題ないが、指摘のとおり空地が少なくなることは事実である。高層化はできないため、どういった配置がよいかは考える必要がある。</p>
3	<p>・市民会館でイベントをやると駐車場が満車になってしまう。それを市役所の駐車場だけでとなると無理があると思う。その代替案はあるのか。駐車場が減るデメリットをどう考えているか。</p>	<p>(公マネ) 駐車場については、複合化した時の問題はあつた。現在の市民会館を公園とした時には、引き続き駐車場は使用できるようにしたいと考えている。</p>

4	<p>・今この会場に一般の市民は何人いるのか。</p> <p>・地域の人の意見を聞くことは必要なことである。市全体の説明会はあるのか。もしあるならば専門家を呼んで、より広く専門的に議論をすることが必要である。</p> <p>・意見交換会については、市報の片隅に書いてあるだけで分かりにくかった。</p> <p>・川越市では費用が高額となるため、耐震補強のみ行ったと聞いたが、それに対する見解を聞きたい。</p> <p>・資料を見ると人口が2040年までに2万9千人減るようだ。他の人に聞くと、他の市では人口が増える所もあるという。入間市では人口が増加する努力はしているのか。</p> <p>・68の事業をやっているというが一つも知らない。学校や公民館を減らす。通学が大変になるからバスで送迎すると言っているが、人口減少を煽っているようだ。具体的な対策を教えて欲しい。</p>	<p>(公マネ) 全体では34の方が参加している。</p> <p>(公マネ) まずは各地区で意見交換会を行い、7月15日に市全体を対象とした意見交換会を行う予定である。</p> <p>(公マネ) 市報以外には、自治会での回覧や各団体の総会での周知や小中学校、保育所を通じて保護者にもお知らせしている。</p> <p>(公マネ) 川越市では約11億円をかけて耐震補強を行った。それとは別途十数億円の大規模改修を予定している。筋交いを入れて補強する方法を選択したようであるが、様々なやり方がある。それぞれの施設の仕様によって選択肢も異なる。</p> <p>(政策) 現在の14万9千人からこのままでは、2040年には12万人、2060年には9万人を割り込む推計である。2060年に12万人を維持するため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で68の事業を設定している。入間に住み続けたい、転入したいと思ってもらえる取組みを行っている。</p> <p>(政策) 宮寺・二本木地区に関しては、ていワゴンの運行が開始した。交通空白地を無くし、よりきめ細やかな対応が可能となった。また、一人親家庭への学習支援などを行っている。</p>
5	<p>・「別の土地への移転」については、候補地はどのような所があるのか。地価が安い所に移転することも考えたのか。</p> <p>・当初から決めつけた計画に聞こえなくもない。時間をかけて検討するべきである。</p>	<p>(公マネ) 空いている土地ということで、入間駅前前の留保地を検討した。所管する財務省に問い合わせたところ、土地の一括購入が条件で費用は約89億円かかるということだったため、購入は難しいと考えている。また、公共施設の統廃合を検討しており、空いた土地を使う案もある。しかし、まだ市民の了承を得ておらず難しい。その他の場所に移転できるか具体的な検討はしていないが、用途地域の問題もある。どこでも市役所を建てられるわけではなく、比較的地価が安い郊外に適当な場所を見つけることは難しい。</p> <p>(公マネ) 意見として承る。</p>
6	<p>・産業文化センターでは、これと同じ説明をすると思うが、専門家を呼んで専門的な見解を聞きたい。反対する人の意見も聞きたい。</p>	<p>(公マネ) 専門家の方に同席してもらうことは、今から間に合うか分からないが検討はしてみる。意見交換会であるため、賛成・反対、また違った意見を持った方からも広く意見をもらう機会にしたいと思っている。</p>

<東金子地区>

<p>1</p>	<p>・複合化案で市民会館の規模は、どの程度のもを考えているのか。現在の市民会館は、約 1,100 人収容できるホールがある。他市も文化というものを大事にしているので、立派な市民会館があると思う。最低でも現在の規模は維持してほしい。</p> <p>・700 席と聞いて少しがっかりした。700 席程度であれば、「良い音楽を聴きたいな」、「良い催し物を見たいな」という時に、採算の関係から入間市の市民会館で実施する団体はほとんどないと思う。年間の回数は少なくとも、必要な時に必要な市民に聞いてもらうような施設を造っておかないと、入間市で南こうせつとか森山良子とか一流音楽を聴くという機会がゼロになると思う。所沢か飯能、狭山の市民会館で実施することになるであろう。文化都市として、少し恥ずかしいのではないか。いつも 1,000 人入らないからと言って、1,000 人規模の座席は必要ではないという理論は成り立たないのではないか。町民会館でも今どき 700 席の規模はない。</p>	<p>(公マネ) 現在の市民会館の利用状況を調査した結果、シミュレーションしている座席数は 700 席で考えている。確かに、1,000 席を超えるような規模でお客さんが集まる催し物もある。また、興行的なプロの芸術家を呼んで行うようなものは、1,000 席に近い利用がされていた。ただ、実際にその利用件数をみると、それほど数は多くない。特に、興行的なものについては年間 10 件程度といった状況であった。一方で、市民の方の文化活動の発表の場という所を中心に考え調査をしたところ、700 程度の座席数が利用実態としては多かった。また、文化団体の意見も聞いたところ、700~800 席程度の規模のものが使い勝手が良いと、むしろ座席数を確保するよりも、舞台装置や舞台の広さに重点を置いて欲しいという要望をいただいた。そのようなことから、今現在計画しているのは 700 席程度、それに合わせて舞台は演劇や音楽等の講演がきちんとできるような仕様でやっていきたい。</p> <p>(公マネ) これまでも市民の方の意見も伺ってきた。意見の中には市民会館はいらないといった意見から、興行としては 2,000 人ぐらいの座席が必要との要望もあった。700 席としたのは、その中で最も利用頻度が高いものに合わせ、どこまで効率化をできるかという視点を重視した。文化活動なので効率化ということだけで考えられないのは当然だと思うが、試算として現在想定している費用は 22 億円である。単独で 1,000 席となると 37 億円ということで、費用に相当な開きがある。複合的に 1,000 席を造れば、37 億円より若干抑えることはできると思うが、費用面も考慮して 700 席を想定している。</p>
<p>2</p>	<p>・シート番号 31 の既存施設の耐震補強に免震とあるが、免震構造は何年位もつのか。材質があまり長持ちしないと聞いたことがある。また、免震装置については不正問題もあった。免震装置の維持管理等についてはどの程度の費用がかかるのか。</p>	<p>(公マネ) 免震装置については、建物のメンテナンスを行っていく中で、何度か取り替えていく必要が出てくる。現在、それがいくらかかるのかについては把握できていない。定期的にやらなければいけないので、維持管理費については他の工法よりもかかるのではないかと考えている。</p>
<p>3</p>	<p>・我々の代でこの問題を解決できることではないが、解決しないと孫の世代に負担をかけることになる。建替えといっても様々な問題がある。私は、既存の施設の耐震補強しかないと思う。40 年くらい経って建物を建替</p>	<p>(公マネ) 意見として承る。</p>

	<p>える時にお金はかかるが、現在考えるのであれば建物の耐震補強を重点的にやっていく方が良い。</p>	
4	<p>・今、80億もの高額な費用をかけて、借金をしながら、やらなければいけないという説明を受けた。私は、耐震が必要だということは良く分かっているので、まず安い費用で耐震をして、余ったお金は今必要な所に回すべきではないかと思っている。例えば、学校で子ども達が使用するトイレの問題、体育館等では男女が一緒になったりもしている。保育所にしても学童保育にしても、待機児童がいっぱい残っている。その子ども達のことを先に考えた方が市民のためになると思う。それから、今介護が必要な老人が多数いる中で、安心して老後が暮らせるような市の姿を見せて欲しい。耐震は最低限度の費用で、耐震補強で済ませていくのが良いと思う。シート番号 68 に財源の比較がある。耐震補強における財源の比較が何も無いが、どういった理由があるのか。</p> <p>・今言われた試算はいつ頃できるのか。私達はいつ確認できて意見が言えるのか。</p> <p>・もう少し具体的な日程を教えてくださいことは可能か。</p>	<p>(公マネ) シート番号 68 については、以前に 4 つの整備パターンの試算を設計会社に業務委託したものであり、その中の財源の試算となっている。耐震補強の費用がこれだけだと見えにくいかと思うが、パターン 1、パターン 2 は減築、免震構造いずれも耐震補強と大規模改修を合わせた試算となっている。これは耐震補強を使った場合の組み合わせだが、恐らく耐震補強だけをやった場合の試算をさらに知りたいということかと思う。耐震補強のみの試算は、改めて今年度、今まで検証していなかった 4 つの整備パターン (シート番号 76)、組み合わせについても試算を含めてシミュレーションを進めている。試算が出来次第、財源も確認していきたい。</p> <p>(公マネ) 9 月頃には、試算結果が確認できるような作業を進めている。その後、皆様にも試算結果をお知らせして意見を伺う機会をつくっていこうと考えている。</p> <p>(公マネ) 9 月頃に出てきた試算結果を検証して、10 月か 11 月頃には、検証結果をまとめた市役所と市民会館・中央公民館の整備計画を案としてまとめ、年明けには皆さんに案として示し、意見をいただこうと考えている。</p>
5	<p>・背景として 30 年計画では人口減少が一番大きく取り扱われているが、高齢化も物凄い勢いで進んでいく。そのような状況の中、入間市をどのような住み良いまちにするのかというビジョンが見えない。ただ、金がかかるので効率的・効率的にやりたいというだけで、肝心の市民の生活や今後の方向性が見えない。非常に不安なので、方向性をはっきり示して欲しい。それから、整備パターンは建替えや耐震化、複合化と様々な案が出ているが、高度成長期で全国の自治体でも似たようなケースがたくさんある。入間市と同規模の自治体を参考にするような調査を実施したのか。調査の中で参考になった事例はあるのか。これまでの経過として、有識者検討委員会が開かれたが、5 人くらいの委員で 3 回か 4 回の会議を 2~3 時間やって、それで結論 (答申) を出した承されたという形になったと聞いて非常に危惧している。また、有識者会議の中で、新たな都市づくりをどうするのか、人口問題をどうするのか、子どもの教育・</p>	<p>(政策) 現在、人口が約 14 万 9 千人だが、2060 年には 9 万人を割り込んでしまう推計が出ている。様々な人口減少対策に関する施策を実施することで、その時の人口を 12 万人で食い止めようという「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して取り組んでいる。その中で、子どもが少なくなり高齢者が増える人口構成の変化は否めない。税金は少しずつ減る一方、後期高齢者や生活保護など社会保障に関する扶助費はどうしても嵩んでくる。そのような理由から、人口減少対策をしつつ、公共施設マネジメントに取り組んでいる。今ある施設を可能な限り集約し、選択と集中の理論で数は減ってしまうが、施設の中身を良くし、安全で安心して利用できる施設を整備していきたい。その結果、今住んでいる市民の皆さんに「住んでいて良かった」、「住み続けたい」と思ってもらえる入間市にしていきたいと考えている。</p> <p>(公マネ) 検討を進める中で、県内・近隣都県の市役所や市民会館の整備に関する事例は調べた。大きな傾向として 2 つあった。まず、いず</p>

<p>保育をどうするのか等議論するにあたって、専門家が入っていたのか。また、入っていないとすれば、改めて専門家の意見を聞く必要があるのではないかと思う。</p> <p>・30年先の孫の代まで借金を残すわけにはいかない。あの時、あれはやらなきゃよかったということにならないように、慎重の上にも慎重にやらなければいけない。有識者会議の時には、市が複合化案を提案したのではないか。それを受けて専門家が討議をしたという理解をしているがいかがか。</p>	<p>れの施設も耐震性能が低いという問題がある自治体は、早急に安全性を確保するために耐震補強を実施している傾向がある。ただ、その時は大規模改修といった長寿命化工事は後回しになっており、別途対応が必要である。次に、長期的な視点をもって整備しようという考え方をもった自治体は、耐震補強と合わせて大規模改修をしたり、建替えたりという選択をしている。一つの事例として、県内の自治体で耐震補強が済んでいない自治体は7つある。その中で、5つの自治体は計画が決まっており、全て建替えを予定している。既に耐震化が完了した自治体は耐震補強を選択したところが多く、これから実施するところは建替えの方が多いという状況である。実際の整備の方法については、様々なやり方がある。現在の建物の仕様がどうなっているのかにもよる。特に入間市のA・B棟は1階から3階まで吹き抜けになっているホールがある。こういったホールの有無によっても整備のやり方が変わってくる。同じような人口規模、同じような建物の規模の自治体であっても、その建物の仕様によってやり方は違って来る。大きな吹き抜けのホールがある自治体が今のところ見つかっていないため紹介はできない。有識者会議は平成27年度に行った。有識者は5名で、大学教授を含め専門家は2名、市民の代表3名で実施した。市からの依頼は整備パターンの設定・選択ではなく、これからの市役所や市民会館のあり方をどう考えるのかを意見としていただいた。内容としては、今後の市役所はオフィス機能を当然持ち続け、交流と協働の視点で市民が活動する場所、市民と行政が意見交換できる場所、協働で何かできるスペースが必要なのではないかという見解をいただいた。現在の市民会館の利用実態を説明し、それに対しどのくらいの規模が適当なのかという意見もいただいた。そういった意見を踏まえて、どのような整備方法が良いのかということを行政で検討してきた。</p> <p>(公マネ) 最初から複合化案を提示していない。交流と協働の場を実現するために、どのような機能が市役所に求められているのか、まずそういった意見をいただいた。その中で、広いコンベンションホール的なスペースが必要であろうという意見が出たり、市民が利用できる会議スペースであったり、市民が自由に集まって意見交換や活動ができる、または行政と一緒に活動できるスペースだったり、様々な意見をこの会議ではいただいた。そういった意見を踏まえて、我々としては市民会館の耐震化、整備の問題が一方ではあったので、「交流と協働の場を</p>
--	--

	<p>・県内の自治体を調査したということだが、なぜ他自治体はこうだったという具体的な説明をしないのか。可能であれば、他自治体ではこういう方法を選択し、全体的には建替えが多かったとか、耐震化でその場をしのぎ時間をかけて検討しようとか、そうした他自治体との比較を聞かせてもらいたい。複合化で引っかけたのは、82億という金額である。人口がどんどん減っていく中で、これだけの費用をかける必要があるのか、どうしてもかけなければいけないのか、今一つ分からない。</p>	<p>作るために複合的に作ったらどうでしょう」ということを提案した経過はある。確かに有識者会議で複合化案を提案したことは間違いないが、施設のあり方からまず検討していただいて、そのあり方を踏まえて整備方法を考えると、そういった形があるのではという流れの中で提案したことになる。</p> <p>(公マネ)自治体の事例で示せるものは用意していないが、我々がいくつかまとめた中で県内の事例では、耐震補強と大規模な改修で実施した市が、久喜市、戸田市、熊谷市、川越市、朝霞市である。それぞれ事業費や進め方、また整備方法等について調査をした。新設・建替えを実施した市は、計画中也含めると、越谷市、新座市、深谷市、志木市がある。志木市については、元々は市民会館との複合化施設を検討していたが、途中で財政的な事情もあり単独整備に見直しが行われたと伺っている。また、秩父市については、2年程前に市役所と市民会館を複合的な施設として建替えたということで視察を行った。現状の建物と敷地の問題といった事情は各々異なるので、全く同じように事例を活かすことは難しいが、様々な事例を参考に検討している。複合化の82.4億円は、確かに非常に高額な費用であるが、現在の市役所の組織体制で必要な面積を基に試算した額となっている。最大限かかる金額として提示したが、実際このくらいかかると選択しようがないという意見も多数いただいている。今年度行うシミュレーションでは、できるだけ実数に近いような形で、コストダウンが図れるような工夫をした上で、実際にどの程度かかるか試算を出したい。いずれにしても、費用をこれだけかけていいのか、それ以外に使うべきところがあるのではないかという意見も多数いただいている。我々も現在かかる費用、あと長期的に見た時に将来の世代に負担を残さないということも含めて慎重に検討していきたい。今ここできちんとした整備をすると、借金が残ってしまうのは確かにそのとおりである。一方で、市役所は今後もあり続けなければいけないということを考えると、現在、耐震補強・大規模改修ということで長寿命化をした場合には、また20年経った後に、改めてその時点で建替えという問題が発生する。その時点で果たして負担が賄えるのかといった問題もあるので、どちらの方法がより影響が小さいのかも試算をする上で考えていきたい。</p>
6	<p>・シート番号70から73の整備パターン1から4の30年間の費用の比較で、一番費用が高いのはパターン2の免震構造案で、次に高</p>	<p>(公マネ)パターン1からパターン3については、市民会館の建替え費用が入っていない。パターン4は、複合化ということで建替え費用が</p>

<p>いのがパターン1の減築案、その次がパターン4の複合化案で、一番安いのがパターン3の単独建替案となっている。少し理解できないので、どういうことか具体的に説明して欲しい。免震構造に対する工夫や古いものを大事に残していく工夫をして欲しい。私は、耐震補強のみが良いと考える。</p>	<p>含まれていることが大きな違いである。よって、パターン1からパターン3については、仮に2041年に市民会館を建替えるとした時、建設費用の37.0億円を現在示している30年間の費用総額に加算する必要がある。免震構造に対する工夫等については、意見として承る。</p>
--	---